

2016 年度一般社団法人日本消化器がん検診学会事業報告書 (自 2016 年 4 月 1 日 至 2017 年 3 月 31 日)

1. 定款第 5 条 1 号 (消化器がん検診に関する学術集会、学術講演会、研究会等の開催)

◎総会

第 55 回総会 (鹿児島市) (テーマ: 消化器がん検診の未来を考える)

会長: 松元 淳 (かごしま高岡病院)

会期: 2016 年 6 月 10 日 (金) ~ 11 日 (土)

会場: かごしま県民交流センター

参加: 885 名

演題総数: 主題 29 題 一般演題 93 題

内容:

理事長講演 (1) 「日本消化器がん検診学会が果たすべき役割」

会長講演 (1) 「腹部超音波検診を考える」

教育講演 (1) 「PET 検診の現状について」

シンポジウム (1) 「対策型胃がん検診システムの再構築」

パネルディスカッション (1) 「大腸がん検診の精検における CT コロノグラフィーの位置付け」

ワークショップ (1) 「腹部超音波検診判定マニュアル、次の一歩」

一般演題 1~14 (胃、大腸、肝胆膵その他)

超音波フォーラム (1)、放射線フォーラム (1)、胃合同症例検討会 (1)、附置研究会 (4)、ランチョンセミナー (5)

大腸 CT 実践トレーニングコース (1)

◎大会

第 54 回大会 (神戸市) (JDDW5 学会合同) (テーマ: がん検診の進歩がもたらす消化器病学への貢献)

会長: 野崎良一 (大腸肛門病センター高野病院)

会期: 2016 年 11 月 3 日 (木) (JDDW 会期: 3 日~6 日、APDW2016 同時開催)

会場: 神戸コンベンションセンター

備考: 参加学会

日本消化器病学会 会長: 岡崎和一

日本消化器内視鏡学会 会長: 藤本一眞

日本肝臓学会 会長: 高山忠利

日本消化器外科学会 会長: 木村 理

参加: 22,616 名

演題総数: 主題 14 題 一般演題 49 題

内容:

会長講演 (1) 「便潜血検査とシグモイドスコープを併用した対策型大腸がん検診」

招待講演 (1) 「National colorectal cancer screening programme in UK」

報告 (1) 「平成 26 年度消化器がん検診全国集計報告」

JDDW 教育講演 (8) 「消化器疾患の最近の進歩」

JDDW 医療セミナー (6) 「専門医制度におけるスペシャリティの取り扱い」

JDDW 日本消化器病女性医師・研究者の会 (8) 「女性医師の強みを生かす患者支援」

JDDW 統合プログラム (6)、メディカルフタッフプログラム (2)

シンポジウム (2) (主導) 「対策型胃内視鏡検診の現状と対策」、「大腸内視鏡検診の精度管理」

一般演題 (デジタルポスター) (胃、大腸)、インターナショナルポスターセッション (10)

ブレックファースト (3)、ランチョン (1)、サテライトシンポジウム (2)

◎地方会 (各 7 支部、年 1 回開催)

・第 46 回北海道地方会

会長: 久居弘幸 (伊達赤十字病院消化器科)

会期: 2016 年 7 月 9 日 (土)

会場：札幌医科大学 記念ホール

内容：特別講演（1）「膵臓がんのスクリーニングについて」

一般演題 17 題

参加者：208 名

・第 54 回東北地方会（テーマ：消化器がん検診の未来を考える）

会長：武田弘明（山形県立中央病院消化器内科）

会期：2016 年 7 月 8 日（金）～9 日（土）

会場：山形市保健センター（霞城セントラル）、山形テルサ

内容：特別講演（1）「日本消化器がん検診学会が果たすべき役割-現状と展望-」

教育講演（4）「胃 X 線検査で診断される『慢性胃炎』の意義と臨床応用」、「胃がん検診のこれから-胃内視鏡検診、リスク検診について」、「腹部超音波検診との出会い」、「腹部超音波検診のがん検診としての効果とこれから」

パネルディスカッション（1）「胃がん検診の将来像」

胃がん症例検討会、一般演題 13 題

参加者：212 名

・第 76 回関東甲信越地方会（テーマ：消化器がん検診の新たな展開）

会長：成澤林太郎（新潟県立がんセンター新潟病院内科・がん予防総合センター）

会期：2016 年 8 月 20 日（土）

会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

内容：会長講演（1）「新潟市における対策型胃内視鏡検診の現状と課題」

特別講演（1）「National Stomach Cancer Screening in Korea」

教育講演（2）「大腸内視鏡ならびに大腸 CT による大腸がんスクリーニング」、「新しい胃 X 線読影判定区分とその運用法について」

シンポジウム（2）「胃がん検診の現状-内視鏡検診とリスク層別化を中心に-」、「標準枕の活用による前壁規定体位徹底」

パネルディスカッション（1）「これでよいのか超音波スクリーニング-記録断面と走査法を見直す-」

症例検討会、一般演題 10 題

参加者：454 名

・第 46 回東海北陸地方会（テーマ：消化器がん検診の現状と未来をみつめる）

会長：井本一郎（遠山病院消化器内視鏡センター）

会期：2016 年 11 月 26 日（土）

会場：アストプラザ

内容：特別講演（1）「*H. pylori* 感染胃炎からの発癌とリスク評価を巡って」

会長講演（1）「*H. pylori* との出会いと胃疾患」

教育講演（3）「がん検診における大腸 CT 検査の意義」、「肝疾患における肝線維化の意義」、「shear wave elastography を用いた肝線維化の侵襲的評価法」

シンポジウム（1）「消化器がん検診の現状と未来」

一般演題 7 題

参加者：341 名

・第 45 回近畿地方会（テーマ：今、身につけたい知識と技術^{わざ}）

会長：水間美宏（神戸アドベンチスト病院消化器内科）

会期：2016 年 8 月 28 日（日）

会場：神戸国際会議場

内容：教育講演（4）「がん検診の精度管理とがん登録」、「今、身につけたい *H. pylori* 未・現・既感染の内視鏡鑑別診断」、「肝炎ウイルスと肝がん」、「超音波検査と胆膵がん」

胃 X 線講義（3）「基準撮影法 撮影での 4 ポイント」「胃がん検診におけるがん描出法の一考察」、「背景粘膜像からみた胃がん診断」

超音波講義（2）「超音波所見と病理像」、「カラードブラが役立つ症例」、実技ライブデモ（2）「みえない部分の描

出法（肝・胆）、「見えにくい部分の描出法（膵腎脾）」

症例検討、一般演題 9 題

参加者：735 名

・第 47 回中国四国地方会

会長：鎌田智有（川崎医科大学健康管理学）

会期：2016 年 12 月 10 日（土）～11 日（日）

会場：川崎医科大学現代医学教育博物館

内容：会長講演（1）「ピロリ菌と歩んできた道、そしてこれからの道」

特別企画（1）「アジアにおける内視鏡診療～中国・マレーシアからの現状」

教育講演（1）「より効果的な超音波検診とは」

シンポジウム（1）「ヘリコバクター・ピロリ感染を考慮したこれからの胃がん検診」

胃症例検討会

一般演題 14 題

参加者：326 名

・第 46 回九州地方会

会長：上谷雅孝（長崎大学病院放射線科）

会期：2016 年 10 月 1 日（土）

会場：長崎大学医学部 良順会館

内容：会長講演（1）「平成 26 年度消化器がん検診九州地区集計報告 九州地区の 5 年間推移」

教育講演（2）「対策型胃内視鏡検診の現状と課題」、「胃 X 線検診の限界と展望-*Helicobacter pylori* 感染を考慮した胃 X 線検診のあり方と課題-

シンポジウム（1）「胃がん X 線検診における精度格差をなくそう！」

胃 X 線症例検討会

一般演題 17 題

参加者：171 名

◎医師認定研修会（総会時に開催）

日時：2016 年 6 月 11 日（土）（鹿児島市）

参加：57 名

内容：「総論・胃・大腸・肝胆膵」

◎支部主催医師研修会

北海道支部 日時：2016 年 7 月 9 日（土）（札幌市）

参加：22 名

東北支部 日時：2016 年 7 月 9 日（土）（山形市）

参加：36 名

関東甲信越支部 日時：2016 年 8 月 20 日（土）（新潟市）

参加：15 名

東海北陸支部 日時：2016 年 11 月 26 日（土）（津市）

参加：31 名

近畿支部 日時：2016 年 8 月 28 日（日）（神戸市）

参加：29 名

中国四国支部 日時：2016 年 12 月 10 日（土）（岡山市）

参加：66 名

九州支部 日時：2016 年 10 月 1 日（土）（長崎市）

参加：42 名

◎胃 X 線読影講習会（総会時に開催）

日時：2016 年 6 月 11 日（土）（鹿児島市）

参加：49 名

内容：「胃がんの成り立ち」、「胃 X 線検診の読影判定区分について」

◎第1回胃がん検診専門技師研修会

日時：2016年10月8日（土）（東京都）

参加：271名

内容：「専門技師ならここまでやろう、発見のための透視観察の手順と着眼点」、「読影基準とカテゴリー分類（案）を考慮した、胃がんX線検診読影講座」、「専門技師が理解すべき内視鏡検査の知識」、「バリウム検査を安全に行うために」、「撮影者が知っておきたい病理」、症例検討会

◎各支部主催検診従事者研修会（放射線・超音波・保健師）

7支部にてそれぞれ各種研修会を開催した。

2016年度 7支部 研修会開催状況
事業年度：2016年4月1日～2017年3月31日迄

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
放射線研修会	研修会名	第42回放射線研修委員会 会費研修会	第19回放射線研修委員会 会費研修会	症例検討会(第76回関東 甲信越支部地方会)	放射線研修委員会初心 者セミナー	第39回放射線研修会	平成28年度第1回放射線 技師研修会	技師研修会
	日 時	2017/3/11	2016/7/8	2016/8/20	2016/7/3	2017/2/25	2016年8月7日	2016/10/1
	会 場	札幌市社会福祉総合センター	山形市保健センター	朱鷺メッセ	ウینگ愛知	千里ライフサイエンスセンター	岡山国際交流センター	長崎大学医学部良順会館
	参 加 費	¥1,000	無料(地方会参加費込み)	無料(地方会参加費込み)	会員 ¥3,000、非会員 ¥5,000	¥2,000	無料	無料(地方会参加費込)
	参 加 者 数	133名	100名	地方会に含まれる	76名	242名	35名	107名
	主なプログラム	一般演題、ワークショップ、 症例検討	胃X線症例検討会	症例検討会	胃X線検査の撮影体位と 撮影部位の理解他	教育講演、胃症例検討会	特別講演、教育講演、症 例検討	地方会に併催(教育講演・ シンポジウム)
	研修会名	第12回北海道胃がん検 診専門技師技術研修会	放射線研修委員会平成 28年度研修会	第48回放射線研修委員 会学術集会	平成28年度消化管造影 技術向上セミナー		平成28年度第2回放射線 技師研修会	平成28年度 胃X線検査レベ ルアップセミナー
	日 時	2017/3/12	2017/2/4	2017/3/11	2016/8/7		2016/12/11	2016/10/2
	会 場	札幌厚生病院	メトロポリタン盛岡	はまぎんホール ヴィアマーレ	福井地域交流プラザ(ア オッサ)		川崎医科大学現代医学 教育博物館	長崎大学 医学部 良順会館 1階 講堂ホール
	参 加 費	¥2,000	¥1,000	¥3,000	会員 ¥1,000、非会員 ¥2,000		無料(地方会参加費込み)	無料
超音波研修会	参 加 者 数	89名	94名	208名	94名		206名	30名
	主なプログラム	ワークショップ、症例検討 会	症例検討会、教育講演	特別講演、教育講演、シ ンポジウム他	胃X線読影のための読影 判定区分について他		特別講演、症例検討会	教育講演、フィルムデイス カッション
	研修会名				放射線研修委員会初心 者セミナー			
	日 時				2016/10/1			
	会 場				JCHO金沢病院健康管理 センター講堂			
	参 加 費				会員 ¥2,000、非会員 ¥3,000			
	参 加 者 数				25名			
	主なプログラム				胃X線読影のための理論 的アプローチ他			
	研修会名	第14回超音波研修会	第14回超音波研修委員 会研修会	第18回超音波セミナー	14回超音波セミナー	第31回超音波研修会	平成28年度超音波研修会	
	日 時	2016/4/2	2016/7/9	2016/4/16	2016/9/10	2016/8/28	2016/12/10	
保健師研修会	会 場	札幌医科大学臨床研究 棟臨床大講堂	山形市保健センター	東医健保会館大ホール	ウینگ愛知	神戸国際会議場	川崎医科大学現代医学 教育博物館	
	参 加 費	¥2,000	無料(地方会参加費込み)	会員 ¥3,000、 非会員 ¥4,000	無料	無料(地方会参加費込み)	無料(地方会参加費込み)	
	参 加 者 数	320名	20名	100名	20名	272名	特別講演	
	主なプログラム	腹部超音波判定マニッ プル「読影編」、実技、講 演、症例検討会	教育講演	教育講演、症例検討会	検診に役立つ、超音波セ ミナー	地方会に併催(超音波研 修会として講義、実技ライ ブデモ)		
	研修会名		超音波研修委員会第9回 得島セミナー	第5回千葉セミナー	46回東海北陸地方会・超 音波研修会			
	日 時		2016/10/15	2016/7/9	2016/11/26			
	会 場		コロッセ福島 ハンズオン	千葉市民会館	アストプラザ(アスト津4F)			
	参 加 費		ハンズオン ¥3,000、 見学 ¥2,000	会員 ¥1,500、 非会員 ¥2,500	¥2,000			
	参 加 者 数		ハンズオン27名、見学52名	99名	79名			
	主なプログラム		講義、ハンズオン、総評	教育講演	特別講演、教育講演			
のそ の他	研修会名			第76回関東甲信越支部 地方会(教育講演)				
	日 時			2016/8/20				
	会 場		仙都會館	朱鷺メッセ				
	参 加 費		¥1,000	無料(地方会参加費込み)				
	参 加 者 数		88名	地方会に含まれる				
	主なプログラム		症例検討会、話題提供、 講演、特別講演	一般演題、教育講演、パ ネル他				
	研修会名			第21回初心者のための 腹部超音波実技講習会				
	日 時			2017/2/18				
	会 場			関東中央病院				
	参 加 費			¥22,000				
保 健 師 研 修 会	参 加 者 数			20名				
	主なプログラム			実技講習・講義、 基礎講義				
	研修会名	平成28年度地域保健研 修会	第13回保健衛生研修委 員会研修会	胃X線検診安全講習会 (放射線技師会同)		第26回保健衛生研修会		
	日 時	2016/11月25日	2016/7/8	実施せず		2017/2/3		
	会 場	北濃健保会館	山形市保健センター			奈良市ならまちセンター		
	参 加 費	¥2,000	無料(地方会参加費込み)			¥1,000		
	参 加 者 数	22名	15名			66名		
	主なプログラム	講演	教育講演、討論会			基調講演、講演、 実証報告		
				先進技術研究事業、調査 研究事業、内視鏡研修委 員会準備委員会				

2. 定款第5条2号（機関誌及び学術研究図書等の刊行）

- 1) 日本消化器がん検診学会雑誌の刊行（英文名：Journal of Gastrointestinal Cancer Screening）
発行部数：年間 35,940 冊平均、隔月奇数月 号数：Vol. 54(3)号～Vol. 55(2)号 + supplement（大会抄録）
- 2) 全国集計資料集の刊行（消化器がん検診の実態調査資料）
発行部数：年間 1,000 冊、年 1 回（発行日：12 月 1 日）
- 3) 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル 2015 年度版を発刊した。
発行部数：6,000 冊（発行日：2 月 15 日）

3. 定款第5条3号（消化器がん検診に関する実態調査及び研究の奨励、業績の表彰）

- 1) 全国の消化器がん検診に関する実態調査を実施
- 2) 業績等の表彰
 - 有賀記念学会賞
鎌田智有（川崎医科大学健康管理学）
研究業績：ペプシノゲンとピロリ菌、萎縮性胃炎に対する研究
伊藤高広（奈良県立医科大学放射線医学教室）
研究業績：胃がん検診活動及び胃がんリスク分類を考慮した胃がん X 線検診の診断基準における研究
 - 学術奨励賞
 1. 瀬古千佳子（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学）
対象論文：ヘリコバクター・ピロリ感染者における慢性萎縮性胃炎の進展に及ぼす因子
ー摂取栄養素分析による検討ー（54(1)）
 2. 佐藤恒信（ちば県民保健予防財団総合健診センター）
対象論文：対策型胃 X 線検診での萎縮度評価と ABC 分類の年齢階級別対比
ー高齢者では A 群でも萎縮進行例が多いー（53(6)）
 3. 中野 真（大宮医師会胃がん検診委員会）
対象論文：胃がん個別 X 線検診での背景胃粘膜の萎縮度を考慮した読影基準の改定（53(4)）
- 3) 各種附置研究会活動
 - 1) 大腸がん検診精度管理検討研究会
 - 2) 胃 X 線検診のための読影判定区分の運用・評価に関する研究会
 - 3) 胃がんリスク評価に関する研究会
 - 4) 対策型胃がん内視鏡検診研究会

4. 定款第5条4号（国際的な研究の奨励及び助成）

- 1) 国際研究費助成金：該当者なし
- 2) 国際学会参加支援：該当者なし

5. 定款第5条5号（消化器がん検診認定医（専門医）及び指導医・指導施設の認定並びに専門技師の認定）

- 1) 認定医制度
 - ・新規認定医・指導医・指導施設の審査を行った。
2016 年度：認定医 29 名、指導医 10 名、指導施設 3 施設
 - ・認定医・指導医・指導施設の更新を行った。
2016 年度：認定更新 279 名、指導医 143 名、指導施設 47 施設
- 2) 胃がん検診専門技師認定制度
 - ・新規認定審査を行った。
2016 年度：認定技師 224 名
 - ・認定技師の更新を行った。
2016 年度：認定更新 647 名

6. 定款第5条6号（消化器がん検診に関する社会への啓発活動）

消化器がん検診に対する国民の関心を高める目的で一般市民向けの公開講座を開催した。

日時：6 月 11 日（土）13:30～15:30 （総会時に併催）

場所：かごしま県民交流センター 県民ホール

内容：「消化器がんから身を守るために」、「肝臓病を知ろう！治そう！」、「がん検診-なぜ必要か？」

平成28年度 貸借対照表

(単位：円)

科目	当年度 (平成29年3月31日現在)	前年度 (平成28年3月31日現在)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	77,615,404	70,290,378	7,325,026
未収金	129,600	277,020	△147,420
前払金	621,669	828,589	△206,920
立替金	1,898	756	1,142
仮払金	4,399,322	4,359,034	40,288
有価証券	566,237	663,154	△96,917
流動資産合計	83,334,130	76,418,931	6,915,199
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	5,000,000	△5,000,000
定期預金	18,000,000	13,000,000	5,000,000
基本財産合計	18,000,000	18,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与積立預金	8,932,000	7,893,140	1,038,860
減価償却積立預金	3,896,926	3,570,176	326,750
備品購入引当預金	2,823,278	2,823,278	0
技師認定制度積立預金	6,278,233	8,778,233	△2,500,000
事業運営積立預金	46,679,087	50,179,087	△3,500,000
特定資産合計	68,609,524	73,243,914	△4,634,390
(3) その他固定資産			
建物付属設備	866,250	866,250	0
什器備品	3,855,797	3,855,797	0
減価償却累計額	△3,896,926	△3,570,176	△326,750
保証金	1,116,000	1,116,000	0
ソフトウェア	4,927,020	2,663,724	2,263,296
その他固定資産合計	6,868,141	4,931,595	1,936,546
固定資産合計	93,477,665	96,175,509	△2,697,844
資産合計	176,811,795	172,594,440	4,217,355
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,588,827	3,393,312	195,515
未払消費税等	508,000	593,700	△85,700
前受金	380,000	387,000	△7,000
預り金	109,760	104,587	5,173
仮受金	0	2,000	△2,000
流動負債合計	4,586,587	4,480,599	105,988
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,932,000	7,893,140	1,038,860
固定負債合計	8,932,000	7,893,140	1,038,860
負債合計	13,518,587	12,373,739	1,144,848
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	163,293,208	160,220,701	3,072,507
(うち特定資産への充当額)	(18,000,000)	(18,000,000)	(0)
	(59,677,524)	(65,350,774)	(△5,673,250)
正味財産合計	163,293,208	160,220,701	3,072,507
負債及び正味財産合計	176,811,795	172,594,440	4,217,355

平成28年度 正味財産増減計算書

科目	当年度		前年度		増 減
	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日		自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	41,202,000		42,360,000		△1,158,000
賛助会員受取会費	3,380,000		3,260,000		120,000
一般会員受取会費	13,915,000		13,885,000		30,000
支部通信費収益	3,929,000		3,488,000		441,000
受取会費計	62,426,000		62,993,000		△567,000
事業収益					
機関誌収益	596,200		1,258,600		△662,400
出版物頒布収益	201,600		245,620		△44,020
広告収益	1,566,960		1,955,520		△388,560
認定手数料収益	2,400,000		3,830,000		△1,430,000
認定研修受講料収益	815,000		1,255,000		△440,000
技師認定手数料収益	6,399,000		6,653,000		△254,000
技師研修受講料収益	846,000		0		846,000
事業収益計	12,824,760		15,197,740		△2,372,980
学術集会収益					
参加費収益	11,246,000		12,964,000		△1,718,000
研修受講料収益	3,858,500		3,590,000		268,500
協賛金収益	6,184,000		6,724,800		△540,800
展示収益	5,904,100		4,960,400		943,700
広告収益	5,673,800		5,706,150		△32,350
受取寄付金	9,018,087		5,542,285		3,475,802
雑収益	410,431		150,976		259,455
学術集会収益計	42,294,918		39,638,611		2,656,307
受取寄付金					
受取寄付金	0		1,000,000		△1,000,000
受取寄付金計	0		1,000,000		△1,000,000
雑収益					
雑収益	11,520		32,712		△21,192
雑収益計	11,520		32,712		△21,192
経常収益計	117,557,198		118,862,063		△1,304,865
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	17,901,673		20,953,324		△3,051,651
臨時雇賃金	663,377		502,484		160,893
退職給付費用	986,917		866,300		120,617
法定福利費	1,810,536		2,276,973		△466,437
福利厚生費	66,018		111,340		△45,322
旅費交通費	6,206,185		5,570,239		635,946
通信運搬費	2,630,153		2,294,190		335,963
広報費	1,448,266		1,859,882		△411,616
会議費	5,031,537		5,426,451		△394,914
発送費	3,009,690		3,031,546		△21,856
奨励費	111,370		167,838		△56,468
消耗品費	631,067		582,608		48,459
修繕費	1,167,600		1,729,996		△562,396
印刷製本費	22,517,585		24,198,193		△1,680,608
光熱水料費	163,022		187,849		△24,827
会場費	3,181,973		5,875,164		△2,693,191
運営費	11,456,230		10,858,349		597,881
賃借料	5,110,479		4,961,283		149,196
諸謝金	6,547,054		4,299,983		2,247,071
記念品費	92,080		854,560		△762,480
租税公課	672		829		△157
委託費	12,353,368		8,973,914		3,379,454
支払寄付金	0		50,000		△50,000
支払手数料	1,324,561		1,167,706		156,855
渉外費	228,142		239,620		△11,478
雑費	23,140		3,694		19,446
事業費計	104,662,695		107,044,315		△2,381,620

(単位：円)					
科目	当年度		前年度		増 減
	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日		自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日		
管理費					
給料手当		2,318,285		1,893,575	424,710
退職給付費用		51,943		213,800	△161,857
法定福利費		55,343		119,545	△64,202
福利厚生費		3,479		5,858	△2,379
旅費交通費		1,974,010		1,866,831	107,179
通信運搬費		998,245		1,390,010	△391,765
会議費		51,690		84,252	△32,562
減価償却費		1,227,854		1,268,330	△40,476
消耗品費		91,482		109,097	△17,615
修繕費		91,698		121,290	△29,592
印刷製本費		631,441		1,068,384	△436,943
光熱水料費		5,043		9,887	△4,844
会場費		104,160		149,420	△45,260
賃借料		144,435		240,628	△96,193
租税公課		627,252		703,279	△76,027
顧問料		1,203,120		1,233,360	△30,240
支払手数料		165,954		100,519	65,435
雑費		76,562		141,035	△64,473
管理費計		9,821,996		10,719,100	△897,104
経常費用計		114,484,691		117,763,415	△3,278,724
評価損益等調整前当期経常増減額		3,072,507		1,098,648	1,973,859
評価損益等計		0		0	0
当期経常増減額		3,072,507		1,098,648	1,973,859
2. 経常外増減の部					
固定資産除却損		0		4	△4
固定資産売却損計		0		4	△4
経常外費用計		0		4	△4
当期経常外増減額		0		△4	4
税引前当期一般正味財産増減額		3,072,507		1,098,644	1,973,863
当期一般正味財産増減額		3,072,507		1,098,644	1,973,863
一般正味財産期首残高		160,220,701		159,122,057	1,098,644
一般正味財産期末残高		163,293,208		160,220,701	3,072,507
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額		0		0	0
指定正味財産期末残高		0		0	0
Ⅲ 正味財産期末残高		163,293,208		160,220,701	3,072,507